

令和6年2月定例会 教 育 長 報 告

行 事 表	
1月22日(月)	第16回B&G全国サミット（～24日 東京都 ベルサール汐留）
1月29日(月)	市議会臨時会（～2月1日 本庁舎 議場）
1月30日(火)	令和5年度能代市青少年問題協議会幹事会（二ツ井町庁舎 大会議室）
1月31日(水)	第1回教育長面接：県教育委員会（山本地域振興局）
2月 5日(月)	令和5年度教職員人事評価面談：各小学校（二ツ井町庁舎 庁議室）
2月 6日(火)	令和5年度教職員人事評価面談：各中学校（二ツ井町庁舎 庁議室）
2月 7日(水)	文化会館運営協議会（能代市中央公民館）
〃	令和5年度能代市校長会第4回校長研修会（能代市南中学校）
2月 8日(木)	部活動地域移行推進協議会（二ツ井町庁舎 大会議室）
〃	令和5年度子ども館運営協議会（能代市子ども館）
2月 9日(金)	第2回能代市立図書館協議会（能代図書館）
〃	生涯学習推進協議会（二ツ井町庁舎 大会議室）
2月13日(火)	令和5年度第2回能代市立小・中学校事務共同実施推進協議会 (二ツ井町庁舎 庁議室)
2月14日(水)	第3回能代市社会教育委員の会議（二ツ井町庁舎 大会議室）
〃	第2回教育長面接：県教育委員会（山本地域振興局）
2月18日(日)	第16回ジュニアフェンシング二ツ井大会（二ツ井町総合体育館）
2月19日(月)	教育委員会定例会（本庁舎 会議室9・10）
2月20日(火)	地域おこし協力隊活動報告会（本庁舎 市長応接室）
〃	能代市栄光賞授与式（能代市総合体育館）
2月21日(水)	第3回教育長面接：県教育委員会（山本地域振興局）
2月27日(火)	市議会定例会（～3月22日 本庁舎 議場）
3月10日(日)	中学校卒業式（能代第一中学校）
3月12日(火)	小学校卒業式（淳城南小学校）
3月14日(木)	令和5年度能代市青少年問題協議会（二ツ井町庁舎 大会議室）
3月26日(火)	教育委員会定例会（二ツ井町庁舎 大会議室）

議案第4号

第3次能代市スポーツ推進計画について

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項の規定に基づき、第3次能代市スポーツ推進計画を別添のとおり定める。

令和6年2月19日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

第3次能代市スポーツ推進計画を定めようとするものである。

第3次能代市スポーツ推進計画（案）

＜令和6年度～令和10年度（2024～2028）＞



能代市教育委員会

目 次

第 1 章 計画策定にあたって

- 1 策定の趣旨 1
- 2 計画の位置づけ 2
- 3 計画期間 3

第 2 章 現状と課題、前計画の点検・評価

- 1 現状と課題 4
- 2 前計画の点検・評価 5

第 3 章 計画の基本的な考え方

- 1 基本方針 8
- 2 基本的施策 9

第 4 章 計画推進のための取組

- 1 基本的施策と具体的な取組 1 1
- 2 各主体の役割 1 5

資 料

- 資料 1 令和 5 年度（2023）市民意識調査結果（概要） 1 7
- 資料 2 計画策定経過 1 9
- 資料 3 策定委員会委員名簿 2 0

第 1 章 計画策定にあたって

1 策定の趣旨

我が国においては、スポーツ基本法に基づき、令和 4 年 3 月に第 3 期スポーツ基本計画、同じく、県では令和 4 年 3 月に第 4 期秋田県スポーツ推進計画を策定するなど、国、地方公共団体、スポーツ関係団体等の関係者が一体となってスポーツ政策を推進していく基本方針を示しています。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックでは多数のメダルを獲得し、新型コロナウイルス感染症により社会が困難を抱える中、人々が大きな感動と喜びを感じる事となり、改めてスポーツの力を確認する機会となりました。

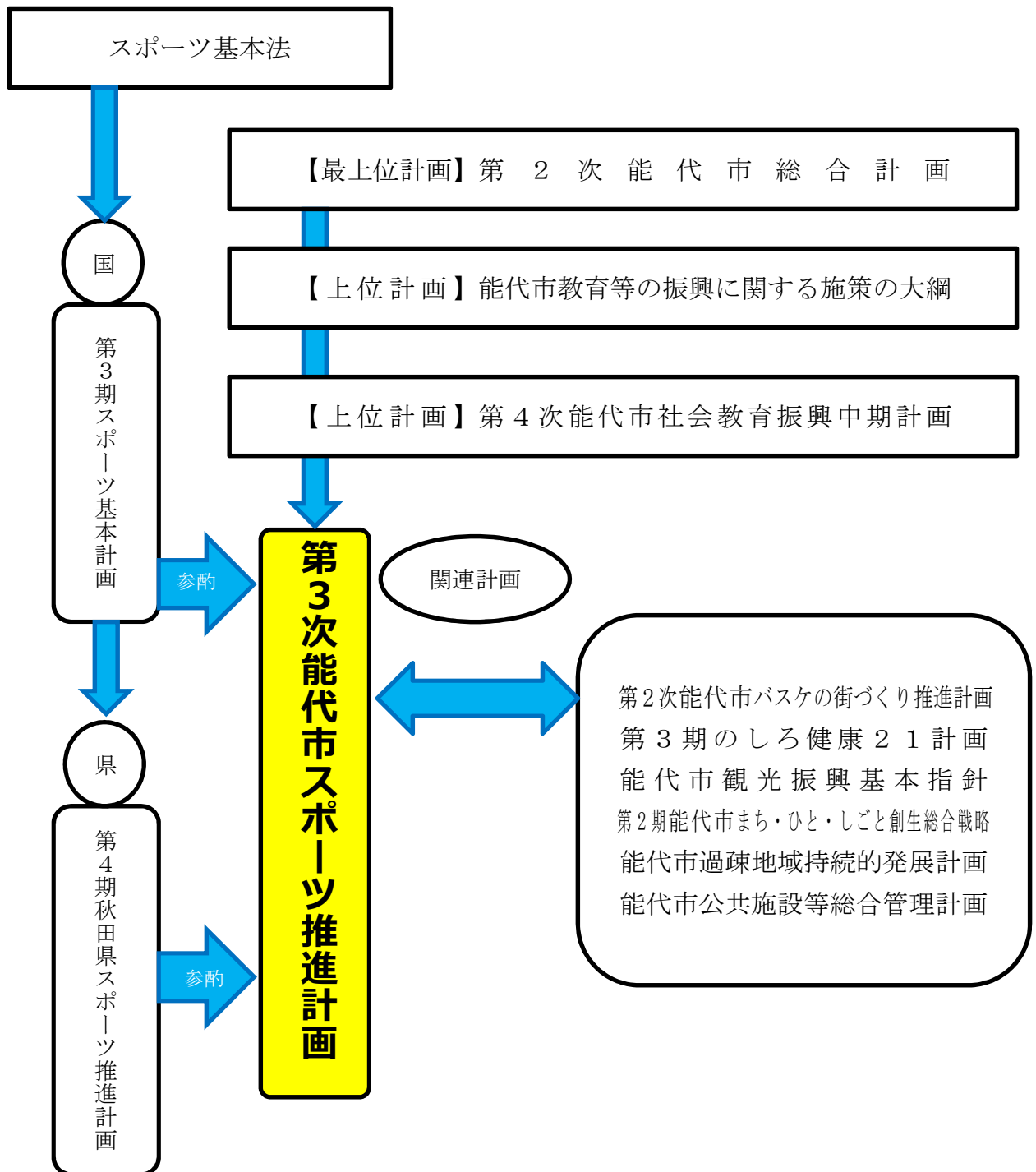
本市では、平成 31 年 2 月にスポーツ振興に関する基本的計画として「第 2 次能代市スポーツ推進計画（平成 31 年度～令和 5 年度（2019～2023）」を策定し、「スポーツによって元気で魅力あるまち」を目指し、各種スポーツ施策を推進してきました。

この間に、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活様式の変化等、目まぐるしく変化し、個人の価値観やライフスタイルも多様化しており、より新しい課題や問題へ対応することが求められています。

そこで、これまで取り組んできた推進計画の計画期間を終えることを機に、計画で進めてきた各種スポーツ施策を検証・整理するとともに、毎年度、県や市が実施しているスポーツ実態調査や市民意識調査の結果を基に、スポーツを取り巻く環境の変化と本市の実情に即した見直しを行い、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに「第 3 次能代市スポーツ推進計画」を策定しようとするものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」として、第2次能代市総合計画を最上位計画とし、同計画にある「気軽に親しみ楽しめるスポーツ」の政策と整合性を図るとともに、「第2次能代市バスケの街づくり推進計画」及び「第3期のしろ健康21計画」等を関連計画と位置づけて策定します。



3 計画期間

計画の期間は「令和6年度～令和10年度（2024～2028）」までの5年間とし、基本的には上位計画である第4次能代市社会教育振興中期計画の見直しの翌年度までとします。



B & G財団会長杯 バドミントン大会



ステップエクササイズ教室

第2章 現状と課題、前計画の点検・評価

1 現状と課題

少子高齢化による人口減少が急速に進行する中で、本市ではスポーツ少年団の団員数の減少や団の統廃合、更には中学校部活動においても、生徒数の減少等により、団体競技においては必要人数を確保することが難しく、現在の形での活動が困難になりつつあります。

また、子どもを取り巻く環境の変化により、日常生活で体を動かす機会が減少している傾向にあり、積極的にスポーツをする子どもとの二極化が見られます。こうした中、子どもたちの基礎的な運動能力や様々な体力要素を高めるためには、体力の現状や課題を分析し、学校教育での取組のほか、家庭や地域と連携して、体力向上につなげていく必要があります。

次に、成人のスポーツ活動については、スポーツ実施率の低い仕事や子育て等で忙しい世代の、スポーツ活動を向上させることを目指し、気軽に参加できるスポーツ教室や大会を開催するなど、ライフステージに応じた取り組みやすいスポーツプログラムの活用と普及が求められています。

本市では、高齢化率の上昇に伴い、地域活力の低下が懸念されることから、一人一人が年齢や身体状況に合った運動・スポーツを楽しむとともに、フレイル予防にも取り組むなど、地域社会へ参加し、健康寿命の延伸につながる取組が必要とされています。

現在、市が所管するスポーツ施設は、老朽化が進んでいる施設が多いことから、市民が気軽にスポーツに親しみ、障がいの有無に関わらず利用できるスポーツ施設となるよう、利用者の利便性や地域の実情に応じた設備の充実を図り、施設の統廃合等も含めた計画的な整備を進めていく必要があります。

全国大会レベルの大会やスポーツ合宿の誘致・支援など、スポーツを通じた交流人口の拡大は、観光振興や、地域活性化等の面でも大きな効果が期待できることから、市内スポーツ施設を有効活用し、積極的に誘致等に取り組む必要があります。

また、より多くの市民が、各種大会やスポーツイベント等へ参加できる仕組みづくりのため、各団体と横断的な日程調整を行い、迅速できめ細やかな情報提供が必要です。

市民ニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、SNS等を活用した情報発信、さらにはDXの活用により時代に合わせた効果的な取組を検討することで、スポーツへの参加のきっかけを生み出すとともに、市民の利便性の向上が期待されます。

2 前計画の点検・評価

本市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者からの意見も踏まえた上で、その結果を報告書にまとめ、公表しています。

本計画の策定にあたっては、この事務点検・評価をもって課題を整理し、以下のとおり取りまとめました。

①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

方針・目標

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。

点検・評価 【ほぼ目標どおり】

子どもの体力向上を推進するため、関係団体や、学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、スポーツ教室等を開催し、運動の習慣化に向けた取組を実施しています。

また、新体力テストの分析結果を小中学校の体育学習指導に生かし、運動能力の向上につながる運動経験を、授業や休み時間の遊びの中に積極的に取り入れるとともに、県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学ぶ機会も提供しています。

子どもたちのスポーツ参加機会の充実を図るため、スポーツ少年団活動の組織強化のための支援や選手派遣費の支援を行い、適切で円滑な運営を推進しています。

今後も関係団体や学校等と連携しながら、学校における体育学習の充実や、地域のスポーツ参加の機会を確保し、子どもたちの体力向上に向けた取組を進めていく必要があります。



スポレクフェスタのしろ

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

方針・目標

成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民意識調査)を50%以上にします。

点検・評価 【ほぼ目標どおり】

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味・目的などに応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、様々な人たちが世代を超えてスポーツに取り組み、各種イベントやスポーツ教室が開催されています。

成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民意識調査)は、事務点検の目標値である50%を超えており、僅かながら増加傾向にあります。

今後も、スポーツ実施率の低い世代のスポーツ活動を向上させることを目指し、ニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営に努めるとともに、気軽に参加できるスポーツ教室や大会を開催するなど、引き続きスポーツの習慣化を図っていく必要があります。



シルバースポーツの日

③スポーツを活用した地域の活性化

方針・目標

バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。

点検・評価 【ほぼ目標どおり】

「バスケの街づくり」事業では、能代カップやサマーリーグを始めとする各種バスケットボール大会の開催や、プロチームのホームゲーム開催支援、屋外バスケットリングの設置など、スポーツ大会やイベントと連動し、県内外からの誘客を図っています。

きみまち二ツ井マラソンでは、毎年約2,000人近いランナーが県内外から訪れ、スポーツによる交流人口の拡大につながっています。

今後も関係団体等との連携を深め、引き続き各種事業の推進及び支援を図るとともに、全国大会レベルの大会誘致や、トップチームの合宿誘致など、スポーツを活用した地域の活性化への取組を進めていく必要があります。

④市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

方針・目標

総合型地域スポーツクラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。

点検・評価 【ほぼ目標どおり】

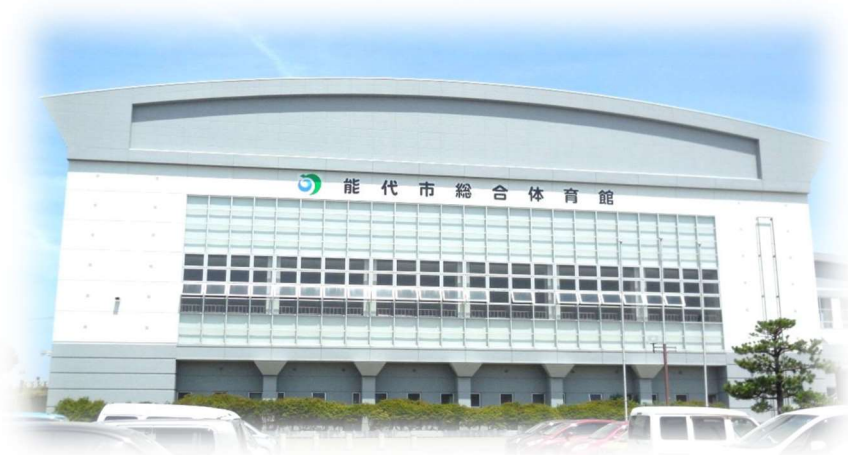
スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、研修会参加等の支援を行い、市スポーツ少年団の講師派遣型スポーツセミナーを実施しています。

また、スポーツ施設については、市民が体力づくりや健康づくりなど、いつでも目的に応じて気軽に利用できる、地域コミュニティの場としての活用を目指し、アンケート結果を反映して改善に努めるなど、利用者ニーズへの対応を図っています。

スポーツ施設については、今後も各施設の劣化状況を把握し、適切な維持管理に努めるとともに、老朽化が進んでいる施設においては、軽微な修繕により保全していくのではなく、施設の統廃合等も含めた年次計画による計画的な整備を進めていく必要があります。



スポーツ医科学健康講座



能代市総合体育館

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本方針

スポーツは、豊かな生活や生きがいづくりのほか、青少年の健全育成や心身の健康増進、競技力・体力の向上、社会経済の活力創造等、多方面での効果が期待されるものです。スポーツを通じてすべての市民が元気で豊かな生活を営むことができる地域を目指すため、「スポーツによって地域を元気にしよう」を基本方針とします。

スポーツによって地域を元気にしよう

本市は国・県計画を参酌し、市の最上位計画である「第2次能代市総合計画（後期基本計画）」の主にスポーツ・健康づくりに関わる目標の達成に向け、関係団体と連携・協働していくための計画として本計画を位置づけます。

本計画では、「する」「みる」「ささえる」スポーツの環境を充実させ、心身の健康づくりを推進するとともに、スポーツを通じて「地域活力」を創り出し、交流人口の拡大を目指します。

○目標指標 ※第2次能代市総合計画（後期基本計画）より

【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指 標	基準値	5年後の目標 (2027年度)	目標値設置の 考え方
週1回以上スポーツに親しんでいる 市民の割合（市民意識調査）	51.3% (2021年度)	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	333人 (2020年度)	300人	前計画の目標値を目指す
スポーツ施設の人口一人当たりの年間 利用回数	—	6.0回/人年	利用者30万をR3人口で割り返した 数値とする

【心豊かな暮らしを支える健康づくり】

指 標	基準値	5年後の目標 (2027年度)	目標値設置の 考え方
からだが健康だと思う市民の割合 (市民意識調査)	63.7% (2021年度)	70.0%	前計画の目標値を目指す
心が健康だと思う市民の割合 (市民意識調査)	61.5% (2021年度)	70.0%	前計画の目標値を目指す

2 基本的施策

1 「する」スポーツの充実

- 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります
- 競技力向上をめざします

2 「みる」スポーツの充実

- 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります
- 競技力向上をめざします

3 「ささえる」スポーツの充実

- 支援体制の充実を図ります

4 スポーツによる「地域活力」の創出

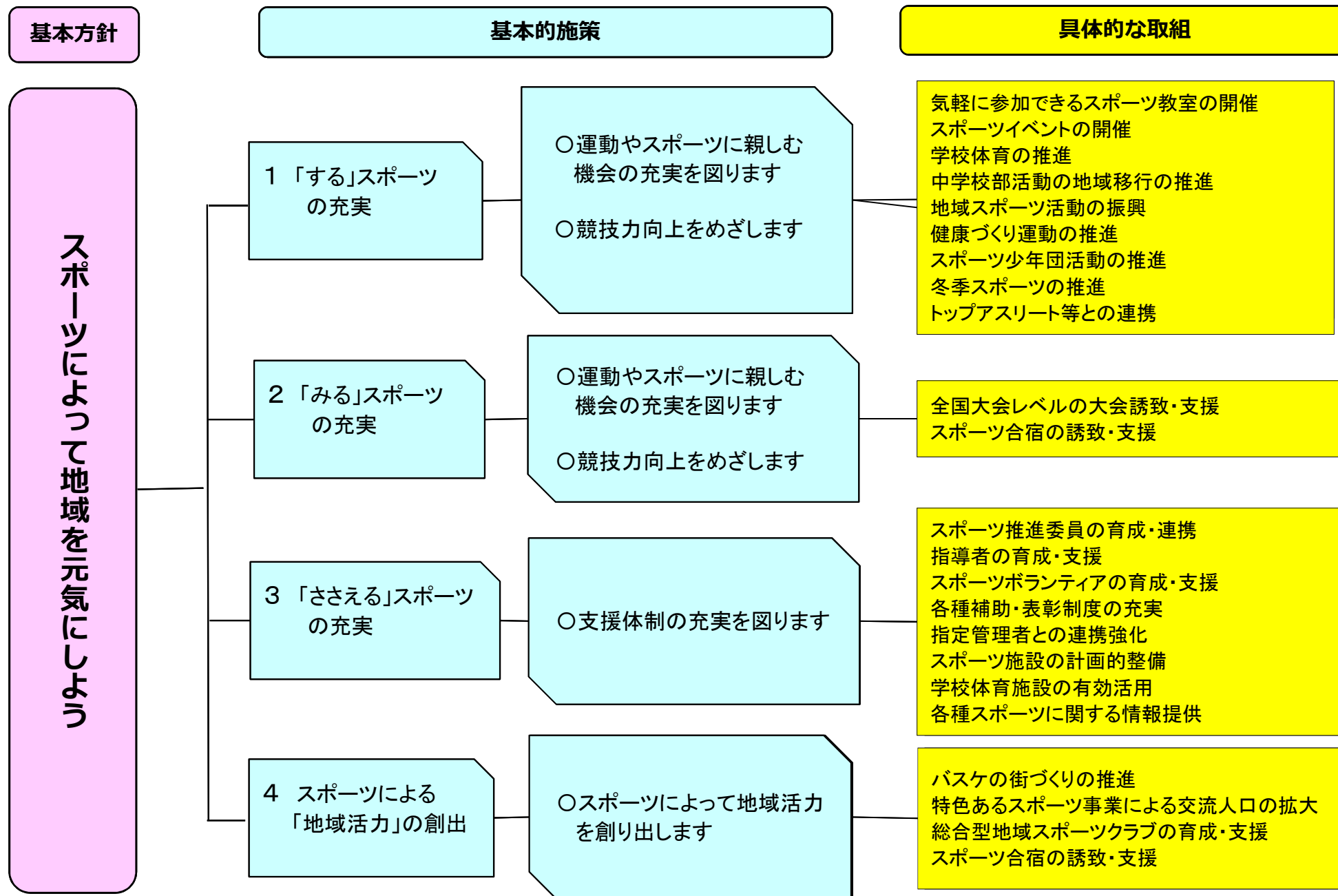
- スポーツによって地域活力を創り出します



わくわく運動遊び教室



山登り教室



第4章 計画推進のための取組

1 基本的施策と具体的な取組

1 「する」スポーツの充実

○ 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

○ 競技力向上をめざします

具体的な取組	
・ 気軽に参加できる スポーツ教室の開催	ライフステージや身体状況等に応じて、市民の誰もが運動やスポーツの楽しさを気軽に体験できるスポーツ教室を開催します。
・ スポーツイベントの開催	スポーツイベントの充実を図り、運動やスポーツを始めるきっかけづくりや、地域の活性化につながる取組を進めます。
・ 学校体育の推進	児童・生徒が運動やスポーツを楽しみながら、心と体を育むために、体育の授業や休み時間の活動等、運動機会の充実を図ります。
・ 中学校部活動の地域移行の推進	将来にわたり、子どもたちが継続して好きなスポーツや文化活動を楽しむことができる環境づくりを目指し、推進計画を基に、段階的に部活動の地域移行を推進します。
・ 地域スポーツ活動の振興	地域住民が世代を超え、主体的に運動やスポーツに取り組み、相互の絆を深めることができるよう、地域スポーツ大会等の開催を支援します。
・ 健康づくり運動の推進	健康づくりに関する教室の開催等により、運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防や体力づくり等、市民の健康増進につながる取組を推進します。
・ スポーツ少年団活動の推進	子どもの体力向上やスポーツの楽しさを経験する上で重要な役割を担っているスポーツ少年団の活動を支援し、少子化が進む中でも継続してスポーツ活動に取り組むことができるよう努めます。
・ 冬季スポーツの推進	地域資源を活用した、冬季ならではの運動や外遊び等、屋外での運動時間の確保のほか、スキーをはじめとした冬季スポーツの振興に取り組めます。
・ トップアスリート等との連携	地元と関わりのあるトップアスリートや、プロチーム等と連携し、スポーツ教室やイベント等を開催することにより、市民、特に子どもたちに夢を与え、競技力の向上を図ります。

2 「みる」スポーツの充実

- 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります
- 競技力向上をめざします

具体的な取組

・ 全国大会レベルの大会誘致・支援	全国から多くの人が参加・観戦する大会を誘致・支援し、市民のスポーツへの意識や関心を高め、スポーツを通じた交流人口の拡大や競技者の競技力向上を図ります。
・ スポーツ合宿の誘致・支援	スポーツ合宿の誘致により、トップチーム等の練習を間近で見ることができほか、市民と交流できる機会の創出も期待されることから、積極的な誘致活動を推進します。



Wリーグ能代大会
「アランマーレ秋田 VS シャンソン化粧品」



ジュニアアスリート育成事業
(野球セミナー)

3 「ささえる」スポーツの充実

○ 支援体制の充実を図ります

具体的な取組	
・スポーツ推進委員の育成・連携	スポーツ推進委員の人材確保と資質向上を図るため、研修会等への派遣を実施し、委員が主体的に活動できる体制を整えます。
・指導者等の育成・支援	講習会等の実施により、スポーツ指導者や審判員の育成を図り、競技力向上とスポーツにおける安全性確保に努めます。
・スポーツボランティアの育成・支援	スポーツを側面から支援・協力するスポーツボランティアの活動を周知・支援します。
・各種補助・表彰制度の充実	競技団体等への大会開催費補助金の交付や、上位大会出場者に対して表彰を行うことにより、市民の体育・スポーツの普及、奨励、競技力の向上を図ります。
・指定管理者との連携強化	スポーツ施設の指定管理者と連携し、民間のノウハウを生かしたサービスの提供や、安全で安心な管理運営を目指し、スポーツ環境の充実に努めます。
・スポーツ施設の計画的整備	スポーツ施設の有効活用を図るとともに、利用者が快適に利用できるよう、軽微な修繕により保全していくのではなく、施設の統廃合も含めた年次計画等による計画的な整備を進め、安全で利便性の高い施設の充実に努めます。
・学校体育施設の有効活用	地域におけるスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放します。
・各種スポーツに関する情報提供	多くの市民がスポーツへの関心を高め、スポーツ参加のきっかけづくりとなるよう、幅広い情報の提供に努めるとともに、SNS等のデジタル技術を活用するなど、時代に合わせた効果的な情報発信に努めます。

4 スポーツによる
「地域活力」の創出

○ スポーツによって地域活力を創り出します

具体的な取組	
・バスケの街づくりの推進	バスケットボールを核とした地域振興を通じて、市民の誇りや愛着心の醸成、さらには本市の認知度向上を図り、スポーツの力によるまちづくりを推進します。
・特色あるスポーツ事業による交流人口の拡大	能代カップ等のスポーツイベントや、講習会・体験会の開催により、特色あるスポーツ事業によるまちづくりを展開し、交流人口の拡大を図ります。
・総合型地域スポーツクラブの育成・支援	身近な地域で気軽にスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブの持続的な活動強化に向けて、育成・支援を行います。
・スポーツ合宿の誘致・支援	スポーツ合宿の誘致は、経済波及効果や人的交流の拡大が期待されることから、積極的な誘致活動を推進します。



～能代球場で大学生と一緒に遊ぼう～
帝京大学準硬式野球部合宿



3×3バスケイベント
スタンピードNOSHIRO



きみまちニツ井マラソン

2 各主体の役割

本計画の推進にあたっては、行政だけでなく、市民や地域の様々なスポーツ団体、関係機関等が、互いに連携を図り、それぞれが主体的にスポーツ推進の担い手として取り組んでいくことが重要です。そのため、以下のように相互に連携しながら、効果的な計画の推進を図っていきます。

1 市民

スポーツ活動の主役として、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツに対する関心や理解を深め、子どもから高齢者まで生涯にわたって様々なスポーツに親しみ、積極的に参加していくことが必要です。

2 家庭

家庭においては、運動不足になりがちな子どもたちや運動が苦手な子どもたちの現状を踏まえ、身近な場所での遊びを大切にし、スポーツを見たり、地域のスポーツ行事に積極的に参加したりするなど、体を動かす機会やスポーツに親しむ機会の充実を図るよう努めます。

3 幼稚園・保育園・認定こども園・小中高等学校等

子どもたちの発達段階に応じて、体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけづくりの場としての役割を担います。

体育の授業や運動部活動の充実を図り、運動する機会を確保します。また、地域の身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放するなど、有意義な利活用が期待されます。

4 団体及び組織

①スポーツ関係団体

多くの市民が気軽に参加できるよう、多世代が楽しめる各種スポーツ活動の充実を図るとともに、とりわけ子どもたちの参加については成長過程を踏まえた体力の向上と適切な指導に配慮し、スポーツ推進へ取り組みます。

②スポーツ推進委員

地域住民に対し、スポーツの実技指導や助言を行います。また、行政と市民とのパイプ役となり、日頃スポーツをしない人への動機付けやスポーツの楽しみ方の啓発等を通じて、本計画の推進を図ります。

③総合型地域スポーツクラブ

地域住民により、自主的に運営され、年齢や体力、目的に応じて様々な種目のスポーツに親しむことができる身近な組織として、スポーツ振興だけでなく、健康づくりや生きがいづくりにもつながる活動を行います。

④健康推進員

各種運動教室や、健康イベントに積極的に参加するとともに、地域住民へも参加を呼びかけ、健康増進の意識づけや、体を動かすことへの関心を喚起する取組により、生活習慣病予防及び寝たきり防止等、運動・スポーツを通じた健康づくりを推進します。

5 市

計画の推進においては、生涯学習・スポーツ振興課を中心に、健康づくりの関係部局と密に連携し、スポーツ環境の充実と心身の健康づくりを推進します。また、スポーツ関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、市民が様々なスポーツ活動や健康づくりに取り組みやすい環境づくりに努めます。

第3次能代市スポーツ推進計画 資料

資料
1

令和5年度（2023）市民意識調査結果（概要）

資料
2

計画策定経過

資料
3

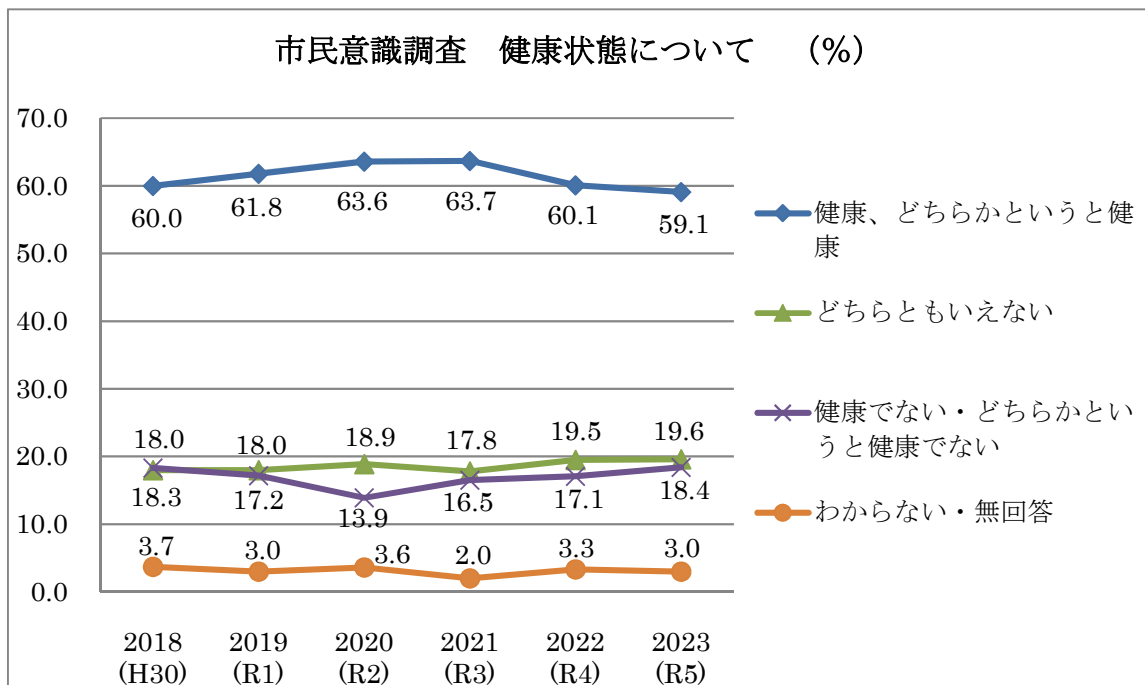
策定委員会委員名簿

令和5年6月に市内在住の満18歳以上の男女2,000人へ市民意識調査を実施し、「健康状態について」と「スポーツを行っている頻度」に関する項目の過去5年間の結果をもとに比較検討を行い、現状分析を行いました。

調査概要

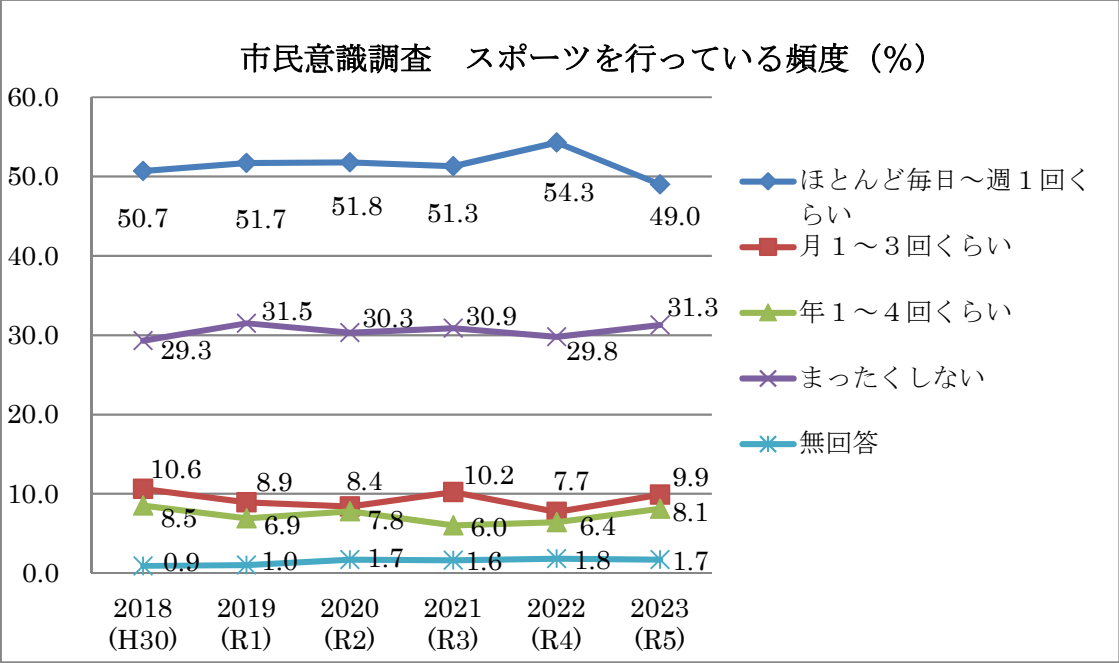
- ・調査対象：市内に在住する満18歳以上の方2,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳から年齢区分毎に無作為抽出
- ・調査方法：郵送による回答方式
- ・調査期間：令和5年6月8日（木）～6月29日（木）
- ・回収率：38.5%（769人）

問：あなたのからだの健康状態は。



健康状態については、「健康である」「どちらかといえば健康である」と回答した人は約6割で推移しています。一方、「健康でない・どちらかという健康でない」と感じている人の割合は2割に満たないものの、増加傾向にあります。

問：どれくらいの頻度で運動・スポーツをしているか。



スポーツを行っている頻度については、「ほとんど毎日」から「年1～4回くらい」と回答した人は、僅かながら増加傾向にあります。また、「まったくしない」と回答した人の割合は横ばいの状況であり、全体的に見ても日常的に運動・スポーツする人の割合が僅かながら増加傾向にあることが分かります。

第2次計画においては、「週1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合」が60%となることを数値目標としており、引き続き、第3次計画においても、最上位計画である第2次能代市総合計画の目標指標に設定している60%を経年的なスポーツ実施率の目安とします。

○目標指標（第2次能代市総合計画より）

【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指 標	基準値	5年後の目標 (2027年度)	目標値設置の 考え方
週1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合（市民意識調査）	51.3% (2021年度)	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	333人 (2020年度)	300人	前計画の目標値を目指す
スポーツ施設の人口一人当たりの年間利用回数	—	6.0回/人年	利用者30万をR3人口で割り返した数値とする

資料
2

計画策定経過

令和5年（2023）

月 日		策定作業
8月	24日	教育委員会定例会（策定委員会設置要綱について）
10月	30日	教育委員会定例会（策定委員会委員委嘱について） 市民意識調査結果の分析
11月	17日	教育委員会定例会（検討案配布・事務報告） 庁内各課へ意見聴取
12月	1日	第1回策定委員会（委嘱・検討案審議）
	7日	12月議会文教民生委員会（素案配布・事務報告）
	18日	パブリックコメント実施（～令和6年1月17日まで）

令和6年（2024）

月 日		策定作業
1月	17日	パブリックコメント受付終了
	29日	第2回策定委員会（計画案審議）
2月	14日	社会教育委員の会議（報告）
	19日	教育委員会定例会（決議）
	下旬	関係機関、団体等に周知・配布

資料
3

策定委員会委員名簿

(五十音順)

氏 名	団体名	役 職
あおやま まさお 青 山 正 夫	特定非営利活動法人 能代市スポーツ協会	理事長兼事務局長
くどう たつみ 工 藤 達 美	能代市スポーツ推進委員会	副委員長
こばやし えいこ 小 林 詠 子	能代市健康推進員協議会	副会長
たにうち なおき 谷 内 直 毅	能代市中学校体育連盟	会長
ふじた たくや 藤 田 卓 也	能代市スポーツ少年団本部	本部長
ふじた ひろこ 藤 田 弘 子	特定非営利活動法人 スポカルきみまち	理事長
わたなべ つよし 渡 部 剛	能代市校長会	研究部副部長

第 3 次能代市スポーツ推進計画

発行日 令和 6 年 2 月

発行者 能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課
〒018-3192 能代市二ツ井町字上台 1 - 1
電話 : 0185-73-3221
MAIL : shou-suppo@city.noshiro.lg.jp

議案第 5 号

令和 5 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 6 年 2 月 1 9 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

令和5年度能代市一般会計補正予算（第17号）歳入内訳

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
13款 使用料及び手数料				
1項 使用料				
9目 教育使用料	5,019	△466	4,553	○保健体育使用料 グラウンド・ゴルフ場使用料 △466
14款 国庫支出金				
2項 国庫補助金				
8目 教育費国庫補助金	61,242	105,448	166,690	○教育総務費補助金 へき地児童生徒援助費等補助金 △450 ○小学校費補助金 学校施設環境改善交付金 38,792 ○中学校費補助金 要保護児童生徒援助費補助金 △111 学校施設環境改善交付金 67,217
15款 県支出金				
2項 県補助金				
7目 教育費県補助金	13,916	△500	13,416	○教育総務費補助金 I C Tを活用した授業改善支援事業費補助金 △500
16款 財産収入				
1項 財産運用収入				
2目 利子および配当金	41	30	71	○基金利子 ふるさと創生基金利子 30
17款 寄附金				
1項 寄附金				
4目 教育費寄附金	3,200	1,100	4,300	○教育総務費寄附金 企業版ふるさと納税寄附金 1,000 小学校寄附金 50 中学校寄附金 50
18款 繰入金				
2項 基金繰入金				
4目 ふるさと納税基金繰入金	94,387	△1,405	92,982	○ふるさと納税基金繰入金 ふるさと納税基金繰入金 △1,405

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
18款 繰入金				
2項 基金繰入金				
5目 ふるさと創生基金繰入金	11,935	△2,933	9,002	○ふるさと創生基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 △2,933
10目 奨学基金繰入金	33,756	△4,770	28,986	○奨学基金繰入金 奨学基金繰入金 △4,770
20款 諸収入				
3項 貸付金元利収入				
3目 教育費貸付金元利収入	43,760	594	44,354	○奨学金貸付金元利収入 奨学金貸付金返還金 594
21款 市債				
1項 市債				
8目 教育債	315,900	372,800	688,700	○教育総務債 スクールバス購入事業債 △300 閉校校舎解体事業債 △9,500 ○小学校債 学校施設整備事業債 130,300 ○中学校債 学校施設整備事業債 258,000 ○社会教育債 図書館空調設備改修事業債 △400 サン・ウッド駐車場整備事業債 △400 向能代公民館改築事業債 △1,000 ○保健体育債 能代市総合体育館改修事業債 △3,900

令和5年度能代市一般会計補正予算（第17号）歳出内訳

5 款 労働費		1 項 労働施設費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補 正 額	計	説 明	
2 働く婦人の家費	13,318	△286	13,032	施設改修費	△286

1 0 款 教育費		1 項 教育総務費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補 正 額	計	説 明	
2 事務局費	313,064	△17,472	295,592	職員人件費	△3,759
				車両管理費	△1,572
				閉校校舎解体事業費	△10,922
				学校施設等環境整備事業費	△1,219
3 教育助成費	126,271	△5,456	120,815	奨学金貸付事業費	△4,770
				奨学基金積立金	623
				奨学金返還助成事業費	△1,309
				中学校体育連盟等補助金	0
4 教育研究所費	250,907	△503	250,404	I C Tを活用した授業改善支援事業費	△503

1 0 款 教育費		2 項 小学校費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補 正 額	計	説 明	
1 学校管理費	211,307	169,219	380,526	小学校管理費	169,169
				小学校健康管理費	50
2 教育振興費	91,322	△2,590	88,732	要保護及び準要保護児童生徒援助費	△2,051
				振興費	△539

1 0 款 教育費		3 項 中学校費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補 正 額	計	説 明	
1 学校管理費	178,720	324,993	503,713	中学校管理費	324,943
				中学校健康管理費	50
2 教育振興費	67,774	△2,852	64,922	要保護及び準要保護児童生徒援助費	△2,852

10款 教育費

4項 社会教育費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	説明
1 社会教育総務費	261,224	△6,378	254,846	社会教育委員費 △147 サン・ウッド駐車場整備事業費 △389 生涯学習推進事業費 △37 家庭教育支援事業費 △73 青少年健全育成事業費 △185 檜山安東氏城館跡保存管理事業費 △2,335 民俗芸能等振興費 △115 市民文化振興費 △222 文化財等収蔵庫整備事業費 △2,506 能代山本広域市町村圏組合負担金 △369
2 公民館費	128,391	△991	127,400	向能代公民館改築事業費 △991
4 図書館費	101,141	△359	100,782	図書館改修等事業費 △359
5 子ども館費	27,189	△221	26,968	事務費 △111 活動事業費 △110

10款 教育費

5項 保健体育費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	説明
1 保健体育総務費	61,638	△519	61,119	体育振興費 △1,128 生涯スポーツ推進事業費 989 バスケの街づくり事業費 △380
2 体育施設費	264,817	△11,156	253,661	管理運営費 △7,161 能代市総合体育館大規模改修事業費 △3,995

【繰越明許費補正】

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
10 教育費	2 小学校費	小学校管理費	170,194
	3 中学校費	中学校管理費	337,032

議案第 6 号

令和 6 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 6 年 2 月 1 9 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

令和6年度 能代市一般会計予算 歳入内訳

(単位：千円)

款 項 目	本年度	前年度	比 較	説 明
12款 分担金及び負担金				
1項 負担金				
3目 教育費負担金	861	913	△52	○小学校費負担金 日本スポーツ振興センター個人負担金 532 ○中学校費負担金 日本スポーツ振興センター個人負担金 329
13款 使用料及び手数料				
1項 使用料				
4目 労働使用料	3	4	△1	○労働施設使用料 行政財産使用料 3
9目 教育使用料	3,837	5,019	△1,182	○教育総務使用料 行政財産使用料 26 ○小学校使用料 行政財産使用料 17 ○中学校使用料 行政財産使用料 11 ○社会教育使用料 公民館使用料 857 サン・ウッド使用料 1,926 子ども館プラネタリウム観覧料 583 伝承ホール使用料 89 行政財産使用料 130 ○保健体育使用料 行政財産使用料 198
14款 国庫支出金				
2項 国庫補助金				
5目 教育費国庫補助金	16,688	10,420	6,268	○教育総務費補助金 デジタル田園都市国家構想交付金 2,112 ○小学校費補助金 要保護児童生徒援助費補助金 79 特別支援教育就学奨励費補助金 462 ○中学校費補助金 要保護児童生徒援助費補助金 184 特別支援教育就学奨励費補助金 445 ○社会教育費補助金 埋蔵文化財発掘調査費補助金 7,154 史跡檜山安東氏城館跡整備費補助金 6,252
15款 県支出金				
2項 県補助金				
7目 教育費県補助金	8,740	15,844	△7,104	○教育総務費補助金 地方スポーツ振興費補助金 2,488 文化芸術振興費補助金 226 ○社会教育費補助金 学校・家庭・地域連携総合推進事業費補助金 5,427 埋蔵文化財発掘調査費補助金 599
3項 県委託金				
7目 教育費県委託金	18	1,932	△1,914	○社会教育費委託金 県指定史跡名勝天然記念物の現状変更等許可等事務委託金 18

(単位：千円)

款 項 目	本年度	前年度	比 較	説 明
16款 財産収入				
1項 財産運用収入				
2目 利子及び配当金	7	37	△30	○基金利子 能代市学校教育施設整備基金利子 1 奨学基金利子 4 ふるさと人材育成・定住促進奨学基金利子 2
18款 繰入金				
2項 基金繰入金				
3目 公共施設解体基金繰入金	6,800	0	6,800	○公共施設解体基金繰入金 公共施設解体基金繰入金 6,800
4目 地域振興基金繰入金	9,015	8,294	721	○地域振興基金繰入金 地域振興基金繰入金 9,015
5目 ふるさと納税基金繰入金	54,657	94,387	△39,730	○ふるさと納税基金繰入金 ふるさと納税基金繰入金 54,657
6目 ふるさと創生基金繰入金	6,742	11,935	△5,193	○ふるさと創生基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 6,742
12目 奨学基金繰入金	32,736	33,756	△1,020	○奨学基金繰入金 奨学基金繰入金 32,736
13目 ふるさと人材育成・定住促進奨学基金繰入金	30,000	30,540	△540	○ふるさと人材育成・定住促進奨学基金繰入金 ふるさと人材育成・定住促進奨学基金繰入金 30,000
20款 諸収入				
3項 貸付金元利収入				
3目 教育費貸付金元利収入	48,356	43,760	4,596	○奨学金貸付金元利収入 奨学金貸付金返還金現年分 20,001 ○ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付金元利収入 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付金返還金現年分 28,355
5項 雑入				
4目 雑入	175,013	181,246	△6,233	○雑入 日本スポーツ振興センター共済掛金保護者支出分充当補助金 27 特別支援教育推進事業費負担金 3,019 学校給食費負担金 168,991 自家用発電売電料金(子ども館) 20 保険料繰替金戻入 1,421 燃料費繰替金戻入 249 光熱水費繰替金戻入 966 電話料繰替金戻入 177 コピー料繰替金戻入 143

(単位：千円)

款 項 目	本年度	前年度	比 較	説 明
21款 市債 1項 市債 8目 教育債	876,800	315,900	560,900	○教育総務債 閉校校舎解体事業債 47,400 ○中学校債 学校施設整備事業債 8,200 ○社会教育債 文化会館改修事業債 10,900 向能代公民館改築事業債 184,900 公民館冷暖房整備事業債 47,600 公民館解体事業債 11,000 ○保健体育債 能代市総合体育館改修事業債 566,800

令和6年度 能代市一般会計予算 歳出内訳

5 款 労働費		1 項 労働施設費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 勤労青少年ホーム費	7,313	5,892	1,421	施設管理費	7,313
2 働く婦人の家費	10,242	11,624	△1,382	施設管理費	10,242

1 0 款 教育費		1 項 教育総務費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 教育委員会費	1,968	1,968	0	教育委員費	1,968
2 事務局費	303,091	302,127	964	教育長人件費	14,320
				職員人件費	209,389
				事務費	3,470
				車両管理費	12,747
				施設管理費	3,643
				能代教育事務所費	218
				閉校校舎解体事業費	53,457
				学校施設等環境整備事業費	5,846
				学校教育施設整備基金積立金	1
3 教育助成費	133,926	126,271	7,655	奨学金貸付事業費	33,191
				ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業費	30,060
				奨学基金積立金	20,005
				ふるさと人材育成・定住促進奨学基金積立金	28,357
				奨学金返還助成事業費	13,084
				中学校体育連盟等補助金	9,229
4 教育研究所費	281,988	235,000	46,988	職員人件費	209,448
				事務費	733
				外国語教育推進事業費	3,744
				心のケア充実事業費	1,341
				日本語学習支援事業費	13
				特別支援教育推進事業費	2,217
				先進地区教育交流事業費	860
				ふるさとキャリア教育推進事業費	2,264
				コミュニティ・スクール推進事業費	475
				スクールD X推進事業費	60,893

1 0 款 教育費		2 項 小学校費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 学校管理費	174,794	198,061	△23,267	職員人件費	7,693
				小学校管理費	157,402
				小学校健康管理費	9,699

1 0 款 教育費		2 項 小学校費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
2 教育振興費	60,851	88,315	△27,464	要保護及び準要保護児童生徒援助費	31,891
				特別支援教育就学奨励費	924
				振興費	27,294
				遠距離通学費	742

1 0 款 教育費		3 項 中学校費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 学校管理費	139,029	177,053	△38,024	職員人件費	3,869
				中学校管理費	127,956
				中学校健康管理費	7,204
2 教育振興費	86,430	67,774	18,656	要保護及び準要保護児童生徒援助費	35,509
				特別支援教育就学奨励費	891
				振興費	49,314
				遠距離通学費	716

1 0 款 教育費		4 項 社会教育費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 社会教育総務費	252,327	251,144	1,183	社会教育委員費	281
				文化財保護審議会委員費	96
				職員人件費	165,812
				施設管理費	3,643
				サン・ウッド管理費	5,083
				生涯学習推進事業費	574
				家庭教育支援事業費	217
				学校・家庭・地域連携総合推進事業費	9,036
				青少年健全育成事業費	524
				成人式費	929
				読書活動推進事業費	281
				文化財保護費	889
				古木・名木保全事業費	726
				檜山安東氏城館跡保存管理事業費	28,332
				埋蔵文化財調査事業費	1,494
				民俗芸能等振興費	769
				市民文化振興費	7,627
				能代市文化財資料収蔵庫管理費	6,742
				能代山本広域市町村圏組合負担金	19,272
2 公民館費	344,941	128,067	216,874	管理運営費	156,603
				活動事業費	2,044
				向能代公民館改築事業費	186,294
3 文化会館費	102,037	226,369	△124,332	管理運営費	91,048
				自家発電設備等改修事業費	10,989

10 款 教育費		4 項 社会教育費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
4 図書館費	107,314	93,672	13,642	図書館協議会委員費 92 職員人件費 22,437 管理運営費 81,606 図書館改修等事業費 3,179	
5 子ども館費	27,132	26,548	584	子ども館運営協議会委員費 35 職員人件費 8,680 事務費 326 施設管理費 12,426 活動事業費 5,665	

10 款 教育費		5 項 保健体育費		(単位：千円)	
目	本年度	前年度	比 較	説 明	
1 保健体育総務費	69,432	64,491	4,941	スポーツ推進委員費 1,377 職員人件費 39,433 体育振興費 2,434 生涯スポーツ推進事業費 12,774 地域スポーツクラブ活動体制整備事業費 6,240 バスケットの街づくり事業費 2,874 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会補助金 4,300	
2 体育施設費	833,659	254,120	579,539	管理運営費 266,682 能代市総合体育館大規模改修事業費 566,977	
3 学校給食費	436,654	437,627	△973	職員人件費 26,503 学校給食管理費 383,153 学校給食費物価高騰対策支援事業費 23,455 車両管理費 3,543	

【継続費】		(単位：千円)			
款	項	事業名	総額	年 度	年割額
10 教育費	4 社会教育費	向能代公民館改築事業費	274,740	令和6年度	156,483
				令和7年度	118,257
10 教育費	5 保健体育費	能代市総合体育館大規模改修事業費	1,138,860	令和6年度	566,947
				令和7年度	571,913

【債務負担行為】		(単位：千円)	
事 項	期 間	限度額	
能代市奨学金貸付金	令和6年度～令和7年度	12,000	
能代市奨学金返還助成金拡充分（令和4年度設定分）	令和6年度～令和14年度	7,600	
能代市奨学金返還助成金（令和6年度設定）	令和6年度～令和16年度	38,750	